

器械室業務改善

医療法人社団 新日鐵八幡記念病院

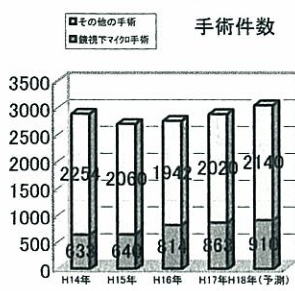
中央手術室 ^{もりした} 森下 ^{ともこ} 知子

1. はじめに

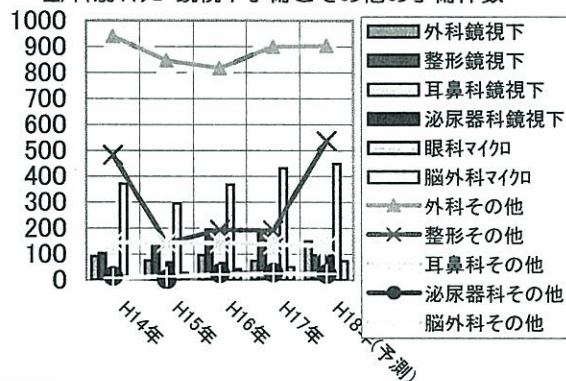
H17年度より看護師・看護助手との器械室業務内容の見直し・改善を徐々に行ってきた。手術件数・長時間手術・内視鏡や特殊器械を使用する高度な手術の増加に比例し、器械室業務が煩雑化した。又、手術終了後の器械片付けと器械準備に関わる看護師・看護助手の精神的・肉体的業務負担は増大してきた。器械室担当看護師(当日・翌日のリネン・器械の準備する看護師)も手術に入る状況で、器械の洗浄～滅菌～翌日の器械準備が時間内に終了しない。そこで、過去2年間の業務見直しの取り組み経過及び今回行った器械室業務を看護師と看護助手で分業し効率的に行うための、業務改善内容を報告する。

2. テーマ選定理由

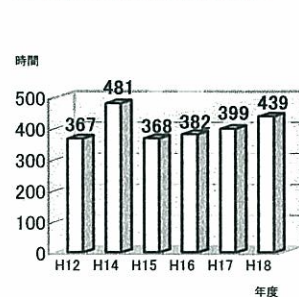
1) 各科手術件数推移の内訳



2) 科別マイコ・鏡視下手術とその他の手術件数



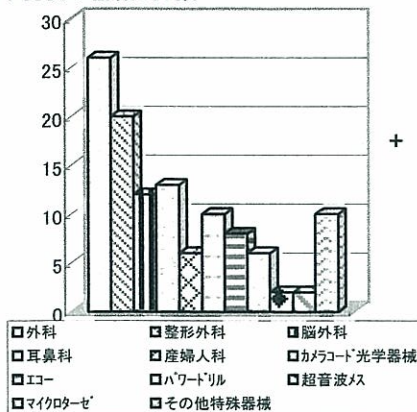
3) 看護師残業時間の推移



	◎ 3点	○ 2点	△ 1点	緊急性	重要性	効果性	経済性	評価点	ランク
看護助手業務改善	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10	2
器械室業務改善	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	12	1
ME機器管理方法徹底	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	8	3
在庫・物品管理方法徹底	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10	2

ランク1の
「器械室業務改善」に決定

1) 現状の器械セット数

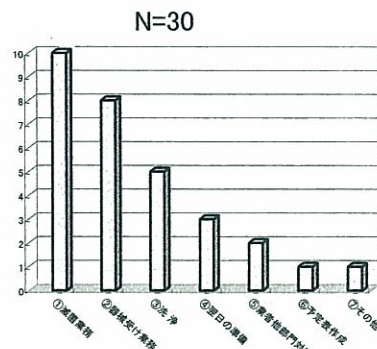


+ 各種術式に応じて追加器械をその都度組み滅菌出ししている

2) 他部署滅菌依頼物品数

泌尿器科外来の膀胱鏡セット: 6セット
泌尿器科外来その他物品
17病棟のRF針: 3~5セット
形成外科・外科外来物品: 2~5セット

3) 器械室看護師業務内容



4) 手術終了後～患者退室までの所要時間

平均30分

患者退室後に器械の受け渡しをする

サークルチーム名		Lovely Rose サークル		2004年 3月 結成	
リーダー氏名	森下 知子	所属部門	看護	月あたり会合回数	2回
リーダー経験年数	5年4ヶ月	QCストーリー	問題解決	平均会合時間	40分
メンバーの数	計 7名 うち女 7名	活動内容	質コスト	平均会合出席率	70%
				テーマ歴	5件目

問題点

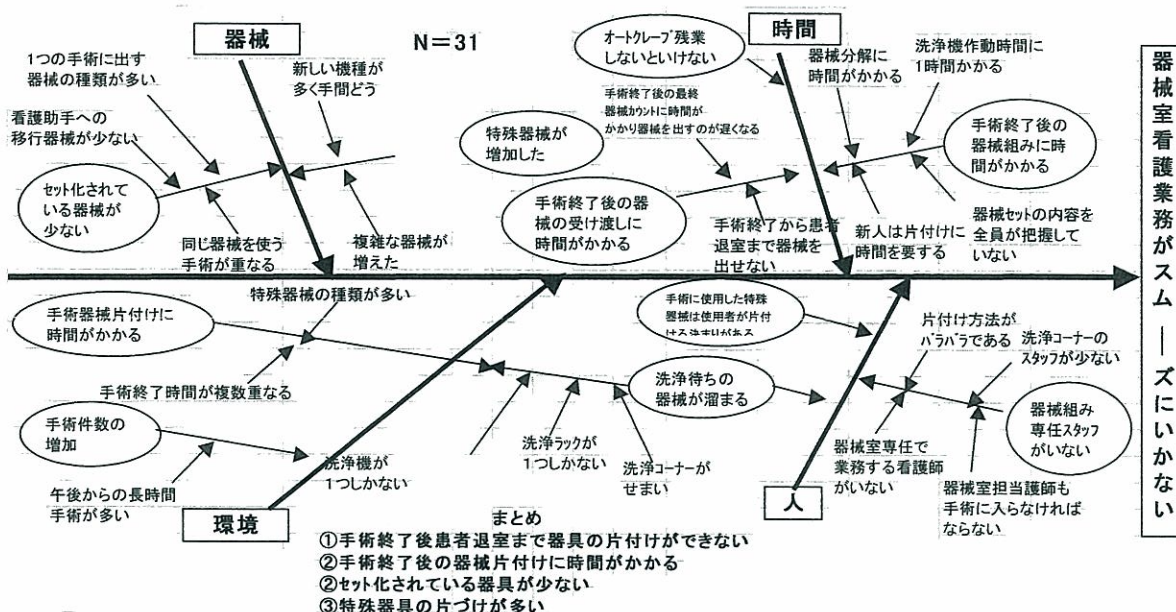
- ①全体の手術件数、特に内視鏡手術が増加し特殊器械の洗浄～滅菌業務を看護師が行っている
- ②繊細なマイクロ器械が増加し、洗浄～滅菌業務を看護師が行っている
- ③手術に必要な器械のセット組みは、科別・術式別・術者別等工夫し、手術室看護師の業務割合が大きい
- ④大半の器械組みを看護師が行っている
- ⑤過勤務残業時間が増加傾向である
- ⑥器械室看護師も手術に入らないといけない
- ⑦患者退室後に使用後器械の洗浄を依頼する

4. 目標設定 H18年11月までに看護師器械室業務を50%スリム化する

5. 活動計画

項目	担当	8月	9月	10月	11月	手法
現状把握	本田・田口					グラフ
要因解析	竹之上					特性要因図 アンケート法
対策立案	廣瀬					系統図・マトリックス図
実施	安慶・廣瀬・森下					
効果確認	森下					グラフ
歯止め	安慶					5W1H
まとめ	森下					

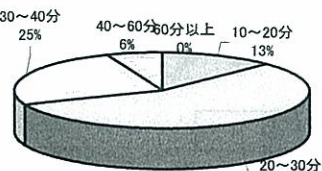
6. 要因解析 2006.8.15～8.20 担当:竹之上



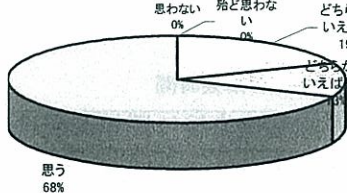
検証

看護師17名に対して、アンケート調査によりそれぞれの項目に対する理解度の5段階評価を行った

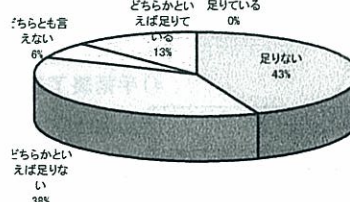
1. 硬性鏡・特殊器械の片付けにかかる所要時間は？
N=17



2. 器械片付けに関して負担に思っていたか？
N=17



3. 手術器械が十分に足りていると思うか？
N=17



- ①看護師の器械洗浄熟達度に関係なく、特殊器械の構造が複雑化し器械メンテナンスの所要時間は20分以上が大半を占める
- ②特殊器械使用手術は、長時間手術が多くその後の器械片付けにかなり負担を感じている看護師は全体の68%を占める
- ③特殊器械(特に内視鏡カマ)待ちのことも多く、器械の不足を感じている看護師は全体の81%を占める

7. 対策立案 2006.8.21.～8.31担当:廣瀬

器械室看護業務のスリム化を図る	手術室中材業務を簡素化する	看護助手への器械室業務委譲をする	③3点 ②2点 ①1点 器械受け渡し業務を実施する セット器械の一覧表を作成する 移行器械セットのラントカード作成をする 器械を移行する計画を説明する 専門業者より器械洗浄方法の説明をもらう 感染勉強会への参加をする 勉強会を行う 器械洗浄方法・組み方の説明をする カメラコード・繊細器械の洗浄方法組み方の説明をする	重要度	実現性	効果	評価	ランク
				◎	◎	◎	9	1
				◎	◎	◎	9	1
ラントカード見直し	器械セットの標準化・基準化をする	器械出しラントカードの見直しを行う 器械セット数を増やす 器械セットを標準化する	借用器械は業者管理とする 中材の独立をする 洗浄コーナーの増設をする 洗浄機を購入する 看護助手の増員をする 看護師の増員をする 器械室専任看護師を作る	◎	◎	◎	6	3
				◎	◎	◎	9	1
				◎	◎	◎	9	1
器械室専任スタッフを配置する	中材の設備を整える スタッフを増員する	洗浄コーナーの増設をする 洗浄機を購入する 看護助手の増員をする 看護師の増員をする 器械室専任看護師を作る	借用器械は業者管理とする 中材の独立をする 洗浄コーナーの増設をする 洗浄機を購入する 看護助手の増員をする 看護師の増員をする 器械室専任看護師を作る	△	△	△	3	5
				△	△	△	3	5
				△	△	△	3	5

8. 実施

2006.9.1～2006.10.15 安慶 廣瀬 森下

1.看護助手への業務委譲スケジュール

期間	担当者	What(何を)
H17年1月～3月	廣瀬	従来のセット器械の看護助手への委譲 各科計34セット移行 ①セット器械の一覧表作成②一覧表で優先順位決定③看護助手への計画伝達④看護助手用ラントカード作成⑤ラントカードを見ながらセット内の器械の名称と組み方説明
H17年4月～H18年10月	安慶・森下	①新しい種類の器械セット化②光学器械の洗浄手順③院内中材依頼物品の洗浄滅菌 ①器械の購入②ラントカード作成③器械の説明④特殊器械の勉強会

看護助手用ラントカード作成



セット器械組みの説明



看護助手勉強会実施



2. 看護助手業務の見直し

- ①清潔ゾーン(各部屋)のディスプレイの点検
- ②ガーゼ・ゴム手袋類点検
- ③翌日の手術部屋準備とベッド移動
- ④カメラコード・繊細器械の洗浄～器械組み

看護助手業務から看護師業務へ移行

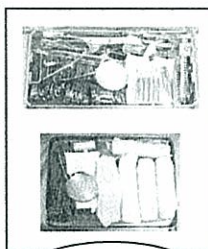
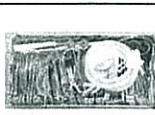


3. 器械セットの見直しと増加

- ①外科:26セット→30セット
 - ①胸腔補助下セット
 - ②鏡視下消化器セット
 - ③消化器外科セット
 - ④末梢骨切断セット
- ②整形外科:20セット→26セット
 - ①小骨接合セット
 - ②中骨接合セット
 - ③ACLセット④腱内釘セット
 - ⑤TKAセット(2)
- ③脳外科:12セット→17セット
 - ①CEAセット
 - ②ハーディーセット
 - ③頸椎弓形成セット
 - ④縫合セット⑤マイクロ縫合セット
- ④内科:1セット→2セット
 - ①CAPDセット

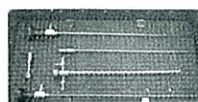
4. 器械セットの標準化・基準化

- ①腹腔鏡器械セットの統一
- ②器械出しセットのスリム化 例)肺切手術



5. 外来滅菌依頼物品の助手への委譲

泌尿器科外来
膀胱鏡



4セット

2セット

9. 効果確認

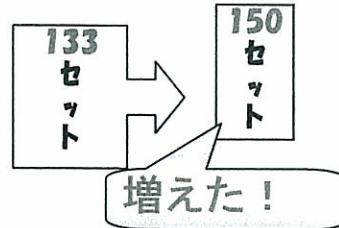
2006.10.16～11.15 担当:森下

有形効果

1) 器械室業務改善項目

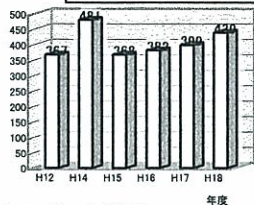


2) 器械セット数



3) 看護師残業時間減少

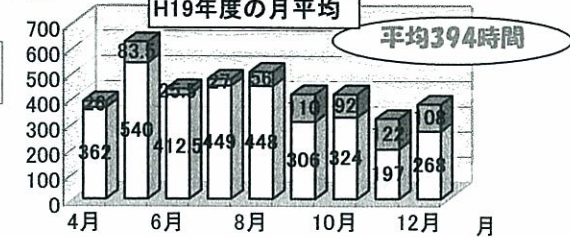
H12～H18年度の月平均



平均481時間

20%減少

看護師残業時間推移 H19年度の月平均

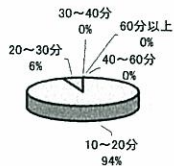


平均394時間

4) アンケート結果

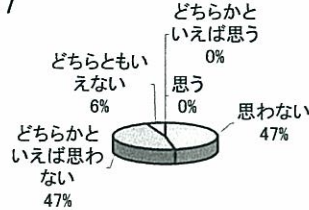
1. 硬性鏡・特殊器械の片付けにかかる所要時間は?

N=17



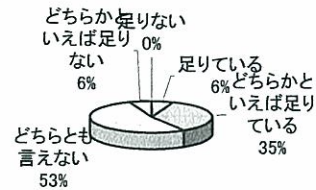
2. 器械片付けに関して負担に思っていたか?

N=17

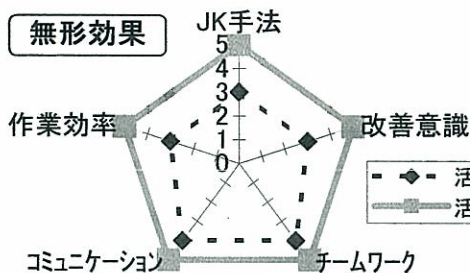


3. 手術器械が十分に足りていると思うか?

N=17



無形効果



波及効果

- ①業務委譲したことで、直接患者に関わる本来の看護業務に専念できるようになった
- ②看護にゆとりが生まれ、看護師の意欲の向上と患者サービスの向上に繋がった
- ③器械をセット化することで、医療器械の準備時間が短縮された
- ④看護師と看護助手のチームワーク向上に繋がった

10. 歯止め

2006.11. 16～11.20 担当:安慶

	When	Where	Who	What	Why	How
標準化	2006年11月まで	器械室	手術室器械室 看護師	器械組み手順	器械受け・組み方法を確立する	手術室看護助手手順に追加する
教育	毎年4月・9月	カンファレンス室	手術室器械室 看護師	感染防止と洗浄方法	洗浄・器械組み方法統一	勉強会を実施する
管理	業務終了時	器械室	手術室器械室 看護師	器械受け・器械組み	確実な器械受け・組みを行う	器械室業務内容見直し

11. まとめ

2006.11.21～11.30 担当:森下

良かった点

- ①看護助手への器械室業務改善したことで、看護師は直接患者様に関わる本来の看護業務に専念でき、患者サービスの向上に繋がった
- ②器械の基準化・セット化したことは、手術前準備時間の短縮に繋がり、緊急手術の迅速な対応や他の手術準備への時間配分が可能になり、患者受け入れ時間などに有効に活用できた
- ③看護助手・看護師のチームワーク向上に繋がった
- ④看護師と看護助手の分業ができ、効率的な業務が行えるようになった。

今後の課題

- ①今後も看護助手の指導・教育に携わり、手順の修正をしていく必要がある
- ②器械・物品の基準化・標準化を行い、医材の定数在庫削減・経済効果を明らかにする
- ③セット器械の増加及び業務の見直しをする